

# 経営比較分析表（令和6年度決算）

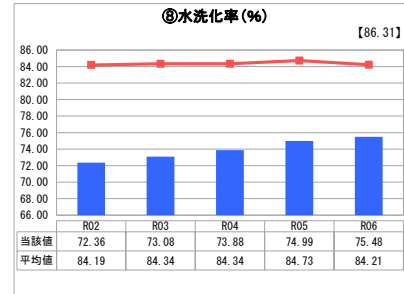
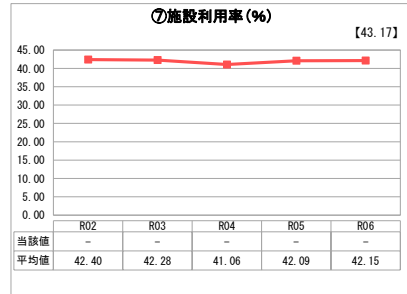
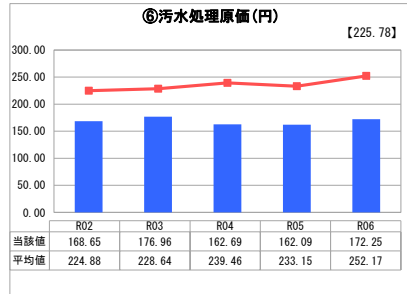
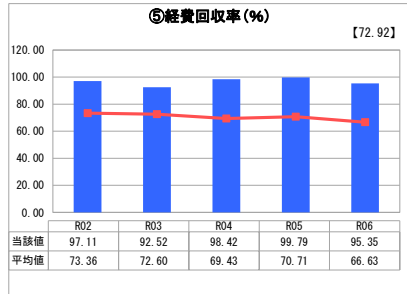
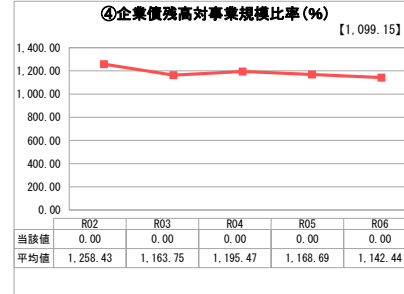
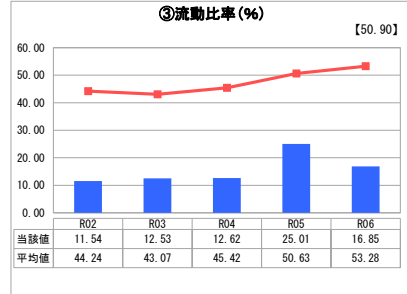
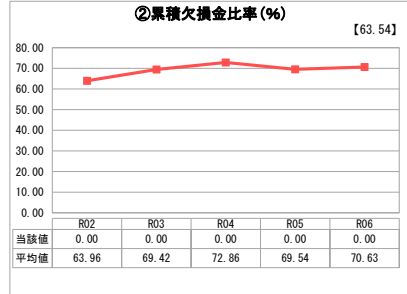
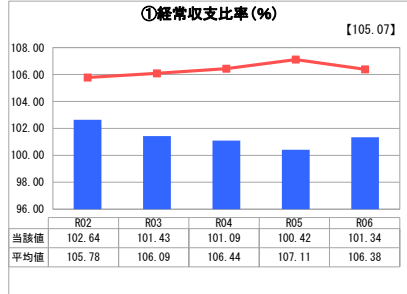
山形県 村山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	特定環境保全公共下水道	D2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	46.95	21.25	72.91	3,300

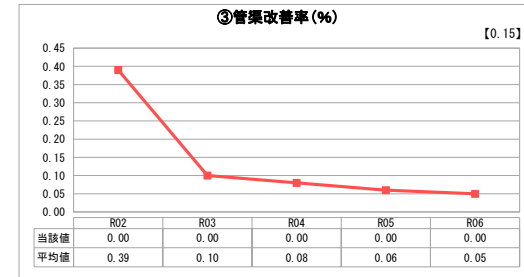
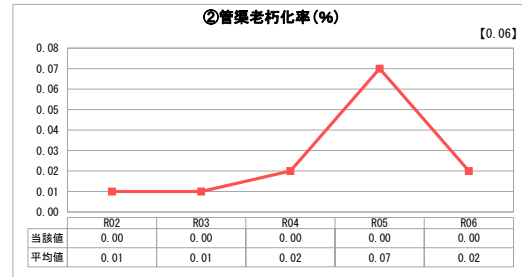
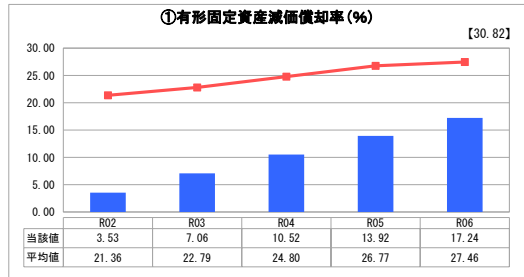
人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
21,299	196.98	108.13
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
4,491	2.38	1,886.97

グラフ凡例
■ 当該団体値(当該値)
— 類似団体平均値(平均値)
[ ] 令和6年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 2. 老朽化の状況



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

- ① 収益的収支比率  
100%を上回っており、使用料や一般会計からの繰入金で賄うことが出来ている。維持管理費の削減など経営改善に務めていく必要がある。
- ② 流動比率  
企業債償還金等が多く低い値になっている。新たな企業債の発行等を抑えていく必要がある。
- ③ 企業債償還高対事業規模比率  
企業債は原則一般会計の負担としているため表示されない。
- ④ 経費回収率  
100%近辺で推移していることから、維持管理費を下水道使用料で賄うことが出来ている。人口減少や物価上昇等により、今後使用料収入が増加する保証はなく、汚水処理費用のさらなる削減を図り、現行の水準を維持していく。
- ⑤ 汚水処理原価  
類似団体平均より低い値となっているが、引き続き処理経費削減等に務めていく必要がある。
- ⑥ 施設利用率  
県営処理施設での処理のため表示されない。
- ⑦ 水洗化率  
年々少しずつ水洗化率が上昇している。引き続き未接続世帯への普及活動を継続していく必要がある。

### 2. 老朽化の状況について

法定耐用年数を経過しているものがないため、低い値となっている。また、管渠老朽化率は算定されない。  
将来的に、耐用年数に達する老朽化資産が多量に発生し、施設の修繕・更新工事等の増加が見込まれる。引き続き、ストックマネジメント計画に基づき、施設老朽化による事故の未然防止を図りながら、改築・更新事業の平準化を行いコスト削減に努めていく。

### 全体総括

人口減少など需要減少傾向が見込まれる一方、施設老朽化が進み維持管理費がかさんでいくほか、人件費や物価高騰による材料費等の増加という厳しい状況が続くことが予想される。  
一般会計繰入金に依存する経営状況が続き、企業債償還と借入のバランスに留意し、企業債償還の縮減に務めていく必要がある。加えて、ストックマネジメント計画に基づく効率的かつ計画的な設備投資による費用の平準化、水洗化率の向上等による健全経営の維持に努め、更なるサービス向上に取り組んでいく。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のための類似団体平均値及び全国平均を算出しています。